令和6年9月11日

保護者様

基山町立基山中学校
校長 高木 健

令和6年度全国学力・学習状況調査（中3年生）及び
令和6年度佐賀県学力調査（中2年生）の実施結果について（概要）

今年の4月全国の国・公・私立学校の中学校3年生を対象に、「令和6年度全国学力・学習状況調査」が、佐賀県の中学校2年生を対象に「令和6年度佐賀県学力調査」が実施されました。今年度分の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

【全国学力・学習状況調査 3年生の結果】

○生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

- (1) 特に良い傾向が見られる主な項目 () は全国平均
- ・「自分には良いところがあると思う」91.8% (83.3%)
 - ・「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う」92.9% (90.4%)
 - ・「学校生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」89.8% (86.3%)
 - ・道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級がグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」92.9% (91.7%)
- 他にも、「人の役に立つ人間になりたいと思う」、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」「今回の調査の書く問題で、最後まで解答せを書こうと努力した」等、全国平均と比較して、良い傾向がみられる項目がありました。
- (2) 課題が見られる主な項目
- ・全般的にPC・タブレットの使用頻度が全国・県平均と比較して低い傾向が見られました。2学期以降のタブレット持ち帰りを契機として、ICT機器を日常的に使えるような環境を作っていく必要があります。
 - ・家庭でのテレビゲームやスマートフォンでのSNSや動画視聴の時間については、全国や県平均と比べて高く、長時間視聴していることが分かりました。携帯電話やスマートフォンの使い方について、今一度御家庭でも話し合っていたいただきたいと思います。

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	数 学
基山中学校	61.0	55.0
佐賀県	55.0	48.0
全 国	58.1	52.5

- (1) 国語の調査結果概要について
- ・国語全体については、全国・県平均よりやや高い。「書くこと」の正答率が比較的高く、「我が国の言語文化に関する事項」も全国平均より高かった。
 - ・「書くこと」の中でも資料からの情報整理や条件を満たす記述に課題がみられた。
 - ・説明的文章における図の役割を捉えたり、文章から情報を取捨選択したりする力がより必要である。

(2) 数学の調査結果概要について

- ・数学全体については、全国・県平均よりやや高い。記述式の問題の正答率も平均より高く、上位の生徒の記述への抵抗は少ないと思われる。4領域(数と式・図形・関数・データの活用)のうち、図形領域のみ全国を下回っており、今後の課題である。
- ・日常生活を題材にした問題や長文を理解しながら読み取る問題に課題がみられた。また、条件を変えて考える問題など発展的な内容を取り扱う必要がある。

【佐賀県学力調査 2年生の結果】

○教科ごとの調査結果の概要

〔正答率〕	国 語	数 学	英 語
基山中学校	67.7	54.6	49.9
佐賀県	62.2	53.0	46.5

(1) 国語の調査結果概要について

- ・全体的に県平均を上回っており、領域ごとの目標値も概ね達成できている。
- ・話し合いの内容を聞き取って自分の考えを述べたり、複数の資料から必要な事項を読み取り、条件に合わせてまとめたりする力が不足している。

(2) 数学の調査結果概要について

- ・全体的には県平均と同等である。領域ごとでは図形分野では目標値を上回ることができたが、データの活用では下回り、計算スピード、テスト時間の配分などが課題である。
- ・数学用語を使って記述する問題や、グラフを読み取って分析する問題に課題がみられた。

(3) 英語の調査結果概要について

- ・全体的には県平均をやや上回っているが、領域毎の目標値では課題が見られた。特にリスニングにおいては対話文の応答が低い傾向にある。
- ・既習の文法を確実に習得し、場面を判断して使用する力を身に付けていく必要がある。

教科の調査結果より

どちらの調査においても無回答率が低く、最後まであきらめずに課題に取り組もうという姿勢がみられました。正答数の分布が二極化する傾向があるため、基礎的な内容を確実に習得させると共に、問題の意図を読み取る力や、複数の条件を満たす記述力、解答選択肢の要点を捉え、的確な答えを導き出す力を身に付けさせていきたいと思えます。

基山中学校の学力向上の取組方針

- 全教科において、単元を通して身に付ける力を明確にした授業づくりを行います。
- タブレットの利活用を家庭学習にも取り入れ、学力向上の取組を推進します。
- 小中一貫教育の「家庭学習がんばろう週間」を充実させ学習の質と時間を向上させていきます。

保護者の皆様へ（ご家庭での協力をお願い）

「将来の夢や目標をもっている」生徒は昨年度より増えましたが、「朝食を毎日食べている」と答えた生徒が、昨年度より10ポイント以上低くなっています。中学校の時期は一生使っていく身体を作る大事な時期ですので、御家庭でも「早寝 早起き 朝ご飯」の実践をお願いします。

家庭学習の時間については、1日2時間以上3時間未満の家庭学習に取り組んでいる生徒が増え、全国平均に近づきました。「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」と回答した生徒が97.9%(全国89.8%)と高いことは嬉しいことです。今後も子供たちの成長を共に見守っていききたいと思えます。